

議事録 兼 報告書

会議名称	伊那市上下水道事業運営審議会
日 時	平成27年7月21日(火) 18:30~19:50
場 所	伊那市役所 庁議室
議 事 内 容	
<p>1 開会のことば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副会長 <p>2 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長 <p>3 会議事項</p> <p>(1) 平成26年度水道事業及び下水道事業等の決算状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料により、事務局説明 ・質疑討論 <p>(委 員) 下水道事業の総係費で、25年度の決算額に対して26年度は当初予算が多く計上してあり、最終的には予算額を減額してあるが、これに対しても執行額はまだ低い。摘要欄を見ると、融資あっ旋利子補給579件と接続サポート補助金97件という実績が出ているが、予算計上の時の見込みが少し甘かったということか。</p> <p>(事務局) 委員さんのご指摘のとおり、予算を確保した割には実際の利用が少なかったという実態はあります。ただ、減額等の一番大きな原因は、会計制度の改正に伴いまして、それまでは職員の退職金、引当金を総係費から支出していましたが、引当金の方から振り替えて支出するという形になったことによるものです。</p> <p>(委 員) 接続サポート補助金は25年度から、下水道の早期接続と景気対策を兼ねて制度ができたと思うが、PRはどのように行っているか。水洗化率の悪いところを回っていると思うが、今後の見通しは。</p> <p>(事務局) 接続サポート補助金は、供用開始から1年以内に接続を行う方を対象としています。供用開始となった地域の方々にご説明をし、パンフレットを送付するといったような広報、あとは市報やホームページでも周知を行っています。見通しとしては、25年度、26年度と1年限りの補助金ということで実施してきましたが、一定の効果があるということで、本年度以降も継続して、34年度に予定しております面整備終了の1年後まで実施したいと考えています。</p> <p>(委 員) 沢渡区の水洗化率が悪いが、沢渡は上の段と下の段に分かれていて、水洗になったのは下の段の地域である。その地域のみ数字はわかるか。</p> <p>(事務局) 人口ベースになりますが、約61%です。</p> <p>(委 員) 経営分析に「有収水量の減少が大きく、大口使用者の減少が影響している」と書かれているが、大口使用者とは企業のことか。</p> <p>(事務局) はい、一般家庭ではなく企業ということです。</p> <p>(委 員) 前回の会議で企業に対する案というの聞いたが、広報や個別訪問などで周知を行</p>	

ったのか。

(事務局) おっしゃられたのは今年の10月からスタートした個別給水契約のことになるかと思いますが、対象が1か月に2千立方メートル以上使う企業ということで、該当が9社10件になります。今年の春に全社を回った結果、8社9件に契約いただき、ご利用いただいています。企業によってまちまちですが、一番使った月の3年の平均より使用料が増えますと、料金がお安くなるということで、恩恵を受けている企業もあれば、そうではない企業もあるという状況です。

(委員) 企業は経費削減に敏感になっているので、是非そういういい制度があればどんどんあつ旋して行っていただきたい。

(2) 平成27年度水道事業及び下水道事業等の予算概要について

- ・資料により、事務局説明
- ・質疑討論

なし

(3) 水道事業および下水道事業経営健全化計画の進捗状況について

- ・資料により、事務局説明
- ・質疑討論

(委員) 水洗化を受け入れてもらえない主な事情というのは何か。

(事務局) 一番多いものは経済的な理由です。接続をお願いする時に、事情があれば延長申請をしてくださいということで申請書をお渡ししています。世帯状況によって、収入から控除を引いて150万以下のところはやむを得ないということで、その状況が改善するまでは延長を認めています。

(委員) 生活保護を適用している世帯の接続はあるのか。

(事務局) それだけを拾い出して調べたことはありません。

(4) 簡易水道事業の公営企業法の適用について

- ・資料により、水道業務課長説明
- ・質疑討論

なし

(5) その他 なし

4 その他

業務課長 次回の会議は、2月頃の開催を予定しています。会議事項としましては、経営健全化の進捗状況、料金改定に向けた進捗状況についてを予定しています。

5 閉会のことば

- ・副会長

以 上